

<2019年度 ハローオリンピック事業>  
**オリンピック教室**

**実施報告書**

**埼玉県 東松山市立東中学校**





## 「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間 (50分)



2時限目  
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
（作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

### 座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

# 実施内容

■期 日 : 2019年12月3日 (火)

■ク ラ ス : 2年5組 (36名)

■オリンピアン : 濱口 典子 先生 (バスケットボール) 【出場オリンピック/アトランタ大会、アテネ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、「オリンピックとはどういうものなのか」ということを一緒に学んでいきたい、と授業の目的を確認。
- ・自分も大切にしながら、相手のことを大切にしてほしいと伝える。
- ・準備体操として、ボールを使ったストレッチとパス練習等を実施。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



- ・パス&シュート競争を全3回実施。
- ・2班毎3チームに分かれ、班毎に1つのボールを順番にパスをしながら合計7本のシュートを決める。
- ・各回終了後に作戦タイムを設け、どうしたら早くシュートを成功させることができるか等を話し合う。

## 4. まとめ



- ・作戦タイムで出た意見や、最後まで諦めずに要領を最大限に考えながら、全力でベストを尽くすということが「エクセレンス」に繋がる。
- ・好きなことを見つけたら、諦めずに全力でぶつかってほしいと伝える。

■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・自身の経験談を通してオリンピックバリューについて考えていきたいと、授業の目的を確認。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、全力で取り組む、あきらめない、ベストを尽くす」、「フレンドシップ＝友情、協力、チームワーク、お互いを理解する、思いやり」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝、ルールを守る」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：生活の中でオリンピックバリューを感じる出来事を書き出してみよう。また、今後3つのオリンピックバリューをどのように活かせるか考えてみよう。
- 発表：「体育の長距離走であきらめずに最後まで走った」「自身で決めたことを継続できるように頑張る」「あきらめずに全力で頑張った」(エクセレンス)  
 「相手のことを考えてパスを出す」「一人ひとりの得意なことを見つけ出し理解する」「部活の皆と1つの絵を完成させた」(フレンドシップ)  
 「試合で戦ってくれた相手を尊敬し感謝した家事をしてくれる親の手伝いをした」「座る時に“失礼します”と声かけをする」「挨拶や返事を全力で行い先生に敬意を示す」「相手にケガをさせない」(リスペクト)

4. まとめ



- ・バスケットボールのパスワークに最適な距離は5mと言われており、コート内にいる5人が5m間隔に並ぶことで効率良く攻められる。日常生活でも、同様にパスが届く範囲で人との距離を保つことが大切だと思う。
- ・各自自分の得意なことを見つけ、技術を磨いた上で、相手の良いところを見つけて教え合おうと伝え、授業終了。

# 実施内容

■期 日 : 2019年12月3日 (火)

■ク ラ ス : 2年1組 (36名)、2年3組 (37名)

■オリンピアン : 塚原 直貴 先生 (陸上競技) 【出場オリンピック/北京大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、今日は2時間を通じて「オリンピックがどういうものなのか」という事を知ってもらいたい、と授業の目的を確認。
- ・準備体操として、リズム運動と新聞紙を使用したリレーを実施。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



- ・ボール転がし競争(全2回)を6班対抗で実施。
- ・5m先に設置したコーンを目掛けて、ボールを投げ、コーンに当たったら次の人に交代する。
- ・終了後に作戦タイムを設け、どのようにしたらより速くボールを当てられるのか等話し合う。

## 4. まとめ



- ・自然発生的に各班で応援が出来ていたことが素晴らしいかったと称える。
- ・次の座学の授業では、一人の力では出来ないことも、チームの力を合わせることによって、何を生み出せるのかということ、塚原先生の経験を踏まえて伝えていく、と予告し授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・オリンピックを開催する目的や、多くのアスリートがオリンピックを目指す理由等について伝えていく、と授業の目的を確認。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、努力する、ベストを尽くす、一生懸命頑張る、全力で取り組む、あきらめない」、「フレンドシップ＝友情、お互いを理解する、仲間、協力、チームワーク、思いやり、工夫」、「リスペクト＝敬意/尊重、ルールを守る、フェアプレー、感謝」と説明。

3. グループワーク



- 1組発問：順位が繰り上がったことで、日本チームと日本以外のチームにどのような変化があったか、それぞれ考えてみよう。
- 1組発表：「失格になったチームで違反をしていない人がショックだと思う」「決勝に行けなかったチームもあるのでフェアプレーでない」「喜べない」「違反をした人は罪悪感がある」「正々堂々と戦いたかった」(日本チーム以外の変化)
- 4組発問：何故順位が繰り上がったのか、また繰り上がったことでどのような変化があったか考えてみよう。
- 4組発表：「相手チームが違反・不正をしていた」「運営がルール違反を見過ごすミスをしていた」「当時のルール違反に気づけなかった」(理由)  
 「一度戦った仲間が違反していたのが残念で悲しい」「結果よりオリンピックという世界交流を大事にしたいと思った」  
 「順位が上がって嬉しいが複雑な気持ちになる」「違反をして勝つてほしいと思った」(日本チームの変化)

4. まとめ

発表：



- ・スポーツにはルールがあり、ドーピングをしないこともひとつのルールである。銅メダルから銀メダルに繰り上がったことは、結果としては嬉しいことかもしれないが、予選敗退をしたチームや正々堂々と戦った選手のことを考えると、決していい思いは残らない。
- ・皆の日常生活においても、結果だけが全てではなく、どのような道りを経てそこに到達したかが大切であると伝え、授業終了。

# 実 施 内 容

■期 日 : 2019年12月4日 (水)

■ク ラ ス : 2年2組 (36名)、2年4組 (36名)

■オリンピアン : 齋藤 里香 先生 (ウエイトリフティング) 【出場オリンピック/北京大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・今日はオリンピックについて学ぼうと授業の目的を確認。オリンピックの価値について「エクセレンス＝一生懸命頑張ること、ベストを尽くすこと」、「フレンドシップ＝友情、仲間、チームワーク」、「リスペクト＝尊重、感謝」と意味を説明し、今日はこの3つを皆に体験してもらいたいと伝える。
- ・ウエイトリフティング競技についてデモンストレーションを見せながら説明。
- ・準備体操として、ストレッチと、頭と体を使った運動を実施。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



- ・8の字跳び (90秒×3回) を2班ずつ3チームに分かれて実施。引っかけつても続きから数えることとし、各回終了後に記録を更新するための作戦を各チームで話し合う。

## 4. まとめ



- ・授業冒頭に伝えたオリンピックバリューを実践できていたと伝え、チームで特に気を付けた点や、どんなところを工夫したかを、座学の時間にバリューに当てはめながら振り返りたいと予告し、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・映像を見せながら競技紹介し、オリンピックバリューについて考えよう授業の目的を確認。
- ・齋藤先生にとってのオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、ベストを尽くす、一生懸命頑張る」、「フレンドシップ＝友情、チームワーク、思いやり」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝、ルールを守る」と説明。

3. グループワーク



- 発問：学校生活で活かせるオリンピックバリューを書き出してみよう。(部活、勉強、学校行事、習い事)  
 発表：「何事も諦めずに全力で取り組む」「部活でベストを尽くして良い結果を残す」「日頃から自分のできる最大限の行動をする」(エクセレンス)  
 「仲間を信じる」「部活でチームワークを大切に」「清掃等の時に手伝う」「わからないことを教え合う」(フレンドシップ)  
 「勉強を教えてくれる先生に感謝」「相手のことをよく知り、良い所を尊重する」「困っている人を助ける」「対戦相手へ敬意を示す」(リスペクト)

4. まとめ



- ・オリンピックバリューはオリンピックだけのものではなく、皆の生活の中にもあると気づいてもらえたいと思う。東京2020大会では、埼玉県でサッカーとバスケットボール、射撃、ゴルフの試合が行われる。世界中から参加するアスリート達が、どのようにオリンピックバリューを体現しているか注目してほしいと伝え、授業修了。

■ 集合写真  
2年1組



2年2組



■ 集合写真  
2年3組



2年4組



■ 集合写真

2年5組



■ 記念品贈呈

2年1組



2年2組



2年3組



2年4組



2年5組



■ 修了証贈呈

